**日本消費者教育学会 九州支部研究会 報告**

１　日時：2017年3月5日（日）13：00～16：00

２　場所：JRおおいたシティ会議室　（JR大分駅ビル2階）

３　参加者：赤星、石川、柏木、川口、川﨑、財津、谷村、花城、宮地、大原（大分県消費生活センター）

　　　　　　以上10名【五十音順】

４　内容：

（１）研究報告会

次の３名から口頭研究発表があった。

①川崎孝明（尚絅大学短期大学部）「ソーシャルワーク現場における消費者教育の可能性」

②宮地晃輔（長崎県立大学）「持続可能な地域消費力と地域基幹産業の影響力－愛媛県今治地域の造船業の事例から－」

③財津庸子（大分大学）「地方都市における消費者教育推進方策の検討―大分県の事例よりー」

（２）情報交換会

　九州県内の消費者教育推進計画の実施状況について、次の順序で情報提供が行われた。

1. 熊本県（川口）②佐賀県（赤星）③宮崎県（海田メール代読：財津）④長崎県（宮地）

⑤大分県（大原・大分県消費生活センター）

５　その他

（１）次回の支部研究会について

　・2017年６月18日（日）13：00～福岡ガーデンパレス

　・報告申込みは５月19日（金）まで（詳細は後日連絡）。

文責：川﨑